

平成 17 年度認定			
	氏名	栗田 和則 (くりた かずのり)	昭和 19 年生
	住所	山形県最上郡金山町	
	分野	楓の樹液	
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 5 年より農山村の豊かさを考え、創造し、伝える「暮らし考房」を主宰する。 山里の暮らしを公開する体験と民泊を地域ぐるみで始めて 20 余年。日本におけるグリーンツーリズムの先駆け、地域づくりの好例と評価されている。 山村の豊かさは森林の活用がカギと昭和 63 年より楓の樹液を採取し、メープルシロップ等の商品開発に取り組む。特にメープルビールは世界初といわれ、平成 22 年からは薬木エキス入りメープルヘルビールも販売。 平成 20 年には日本メープルサップ&シロップ協会を立ち上げ、日本における新たな森林文化の創造を目的に情報発信とネットワークづくりに努めている。 	
	相談・指導に 応じられる分野	<ul style="list-style-type: none"> 農山林の豊かさとは何かを考える活動 農山林の豊かさを活かしたグリーンツーリズムについて 自然、人、地域を活かした地域づくりについて 山菜の栽培と販売戦略について (日本一のタラの芽産地 18 年の実践から) 楓の樹液の採取と活用ー商品開発と販売について 私の活動はすべて公開しております。 	
	国・都道府県・ 中央団体等の 受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> 平成 17 年度川村造林記念山形県林業賞 グリーン・ツーリズム大賞優秀賞 平成 18 年度山村力コンクール山力発揮リーダー賞 平成 20 年度大日本農会緑白綬有功賞 令和元年春黄綬褒章 	
	主な役職	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年～平成 26 年 山形大学大学院非常勤講師 (森林環境資源学) 平成 20 年～平成 26 年 山形県林業士会長 平成 20 年～ 日本メープル協会会長 平成 23 年～ ボランティアプランナー (農林水産省) 	
最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 10 月 農林水産省広報誌「AFF」で紹介される。 平成 25 年 1 月 第 2 回全国メープル会議開催 平成 26 年 1 月 第 3 回メープル会議主催 日本メープル宣言決定、楓とともにある採液とメープル賞品の基準及び表示を決定する。 		
HP			